そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネット録画配信をしています。また、議員名の横の2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)。

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。6月定例会では、16名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】

狭山で充実した部活動を！

笹本　英輔（創政会）

その他のテーマ
- ▶部活動指導員に対する考え方
- ▶教員負担を減らす地域連携
- ▶部活で達成される理想の生徒像

◆部活動指導員

①部活動を務める教員の残業時間の傾向は。
②学校教育法施行規則改正に伴う部活動指導員についての考えは。
③部活動を通じて達成されるべき生徒像とは。

学校教育部長 ①部活動の顧問教員にとっては、勤務時間終了から下校時刻までの１時間から１時間半が部活動による残業時間となっている。これ自体は長時間という状況ではないが、試合や練習のある土曜日や日曜日を含めると、長時間勤務となっている例もある。

②部活動指導員を学校職員として受け入れ、業務の一部を部活動指導員が担うことが可能となることで、顧問教員の負担が軽減される。さらに学校職員となることから、日常的な生徒指導なども可能となり、学校運営上有益と考えているが、解決すべき課題も多くあると認識している。

③スポーツや文化活動の楽しさ、やりとげる達成感を味わうとともに、仲間との友情を育(はぐく)むことで、充実した学校生活を送ることができ、これらをとおして豊かな心が醸成された人物になることと考えている。

入曽地区の地域拠点となる地域交流施設に！

西塚　和音（創造）

その他のテーマ
- ▶公民館業務の専門性への対応
- ▶特定外来生物の植物の種類は
- ▶ナガミヒナゲシの対処は

◆公民館から地域交流施設（仮称）へ

①時代に即した公民館の機能は。
②社会教育の機能と役割で継続される点は。
③つながりをつくるための場の用意は。
④個人利用、飲食は可能にしていくのか。

市民部長 ①地域の学習拠点のみならず、地域住民が集い、交流できる地域活動の拠点として、まちづくり活動を支援するような機能の充実を図りたい。

②地域交流施設として開館した後も、公民館が担ってきた機能を継承し、社会教育や生涯学習の場として、心豊かなライフスタイルの実現などに寄与したい。

③市民の出会いと交流を促進する地域コミュニティー形成の拠点を目指しており、子どもから高齢者まで幅広い世代が出入りし交流できるスペースや、図書スペースを設けることとしている。

④狭山市駅西口の市民センターと同様に、地域交流施設も個人利用ができる方向で検討したい。また、飲食についても市民のさまざまな交流の促進を図る点から、可能とする方向で検討する必要があると考えている。

狭山市や他市の同様の施設などを参考に

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧になれない方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。☎04-2953-1111内線3313

温暖化対策は事業計画を策定するときから

高橋ブラクソン久美子（無所属）

その他のテーマ
- ▶入曽駅周辺整備事業案の公表を
- ▶民間活力の積極的な導入を
- ▶保育環境の整備は前倒しで

◆入曽駅周辺整備事業案

①どのように案を策定したか。
②市民や議会の意見聴取やその意見を計画にどう反映するのか。

都市建設部長 ①入曽駅周辺は、駅前の交通上の問題や地域の拠点として未整備であったことから、昭和55年ごろから整備に向けて地権者との合意形成に努めてきた。しかし、事業に反対の意見が多く地権者の合意が得られなかったため、平成25年に事業の実施を休止した。

こうした経緯を踏まえ、28年度には駅周辺の現状を勘案し、整備予定区域を絞り、まずは事業の実施に向けて基本計画を策定することとした。公共施設の整備、民間施設の立地、土地利用計画案の作成と事業化に向けた事業手法の検討などを行い、これらを基本計画案として取りまとめた。

②基本計画を確定する前に、整備予定区域外の地域住民からも意見などを聞く機会を設けるほか、パブリックコメントを実施するなどして、市民の意向も踏まえた計画としたい。市議会へは、時期を捉えて、報告や意見聴取する予定である。

入曽駅周辺整備事業予定地

市民の実態に合わせた茶の花号に向けて

望月　高志（日本共産党）

その他のテーマ
- ▶茶の花号の利用促進を
- ▶適切な時期での修繕計画を
- ▶幼稚園の誘導員の再配置を

◆狭山市の公共交通政策

①狭山市地域公共交通会議の概要と設置目的は。
②茶の花号の利用促進の具体策は。
③端末交通手段である自転車とバスを繋(つな)ぐサイクル・アンド・バスライドへの考えは。

市民部長 ①地域公共交通会議は、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要となる事項について協議を行うもの。狭山市では、地域の公共交通の一層の利便性の向上を図るための方策や今後の公共交通のあり方について、市内循環バス「茶の花号」の見直しを軸に協議することを目的に設置した。

②茶の花号の存在やコース、利用方法などを積極的に周知するとともに、ポイントカードや回数券の発行などの優遇策も、地域公共交通会議で検討する。

③自転車とバスの利用を連結させたシステムとして、目的や効果は認識しているが、自転車の駐車場所の確保などが不可欠であることから、地域公共交通会議の中で、サイクル・アンド・バスライドの導入も含めて検討したいと考えている。

茶の花号を存続させるため利用しましょう